

## 小学校の部 最優秀賞

四国防災八十八話 第58話 人伝えの情報の大切さ

「人伝えの情報の大切さ」を読んで

柏小学校 5年 <sup>わきだ</sup>脇田 <sup>なつき</sup>菜月

「こっち側の方が安全だよ。」「木がたおれてきそうだから気を付けて。」わたしたちの学校のひなん訓練では、先生だけでなく、みんなが声をかけ合ってひなんしています。大じょう夫だと安心できる声かけはもちろん、き険を知らせる声かけもします。

わたしは、「人伝えの情報の大切さ」で、川が増水して無線設備がしん水し、ひなんかん告の情報を伝えられなくなった時、何の情報も得られない住民は、「家にいたほうが安全なんじゃないか。」「だれかが声をかけてくれないかな。」と、不安な気持ちだったのではないかと思いました。だから、声をかけてもらって、にげる勇気ももらったと思いました。能登半島地しんが起こった時、ニュースで、つながりの強い地区は生ぞん率が高かったと言っていました。

いざという時、住民同士が声をかけ合ってひなんすることが大切だと、この二つの事例が示しています。だから、わたしはこれからも、訓練でしっかり声を出して、安心感やき険の情報を伝えていきたいと思います。日ごろの備えとして、食料等の備ちくだけでなく、独居老人の家をほう問したり、地いきの方と積極的に交流したりして、つながりを深めることもがん張りたいです。